

## 平和と安全（その1）：神との平和

:

明:イスラ ムがどのようにしてその 造主と自身との平和を くか。

目:[事イスラ ムによる利益社会への利益](#)

より: ジャマ ルッディ ン ザラボゾ ( 2011 IslamReligi

日16 May 2011

集日 05 Feb 2017

### イスラ ムと平和（サラ ム）の相互



おそらくイスラ ムと平和、そして安全の相互 を するにあたっての最善の出 点は、最近よく かれる「イスラ ムとは平和という意味である。」という言 について し合うことでしょう。もしその言 を口にする人が、イスラ ムという言 自体が平和を意味すると言うのなら、それは全くの いです。イスラ ムという言 が、アラビア の平和（サラ ム）という言 と同じ 源であるというのは事 です。このことは、イスラ ムと平和との に何らかのがあることを示しています。この二つにどんな があるのか、そしてその相互 がどのように生じたかを ることは、とても大切です。





。

もし人が神以外のものを崇 するのなら、たとえ彼がそれによって や喜びを得たとしても、やがて毒を服するよりも大きな害がその人にもたらされ、破 に ることとなります。

人が かを神以外のものにおいて するのなら、その するものはその者にとっての害や の理由となることを知っておかなければなりません 人が かを神以外のものにおいて するなら、その 象は、たとえ彼のそばにあらうがあるまいが、彼に害をもたらすことになるでしょう。[5](#)

世界中のいかなる や物 も、人 に真の内面的 足をもたらすことはできません。教友アブフライラは、言者（彼の上に平安と祝福あれ）がこう言ったと えています：

??[6](#)

また、他のハディ スではこう えられています。

??[7](#)

人は、自らが平 かつ内面的に がない状 にあれば、他人とも平和な を けるものです。彼には、他の人々、つまり内面的な平 に まれてはいない人々に怒りを抱く理由がないのです。事 、彼の目的地は死 の世界なのであり、他人がこの世界で何を手に入れたかということに して、彼らとの平和な を害する みや怒りなどを抱かなくてもよいのです。

Footnotes:

[1](#) E. W. Lane, Arabic-English Lexicon (Cambridge, England: The Islamic Texts Society, 1984), vol.1, p. 1413.

[2](#) 参照： Sayyed Qutb, Islam and Universal Peace (Indianapolis, IN: American Trust Publications, 1977), passim.

3 イブン タイミ ヤがここで使用した用 は「アブド（しもべ、または奴）」ですが、そこには全人 が含まれます。

[1] これはつまり魂が、その天性ゆえに、神との を待望するからです。

5 Ibn Taimiya, Majmoo, vol. 1, pp. 24-29.

6 Recorded by al-Bukhari and Muslim.

7 イブン ヒッバ ン 。アル=アルバ ニ によれば、真正な 承。参照：al-Albaani, Saheeh al-Jaami al-Sagheer, #781

この 事のウェブアドレス:

<https://www.islamreligion.com/jp/articles/512>

著作 2006-2015 断 を禁じます。 2006 - 2023 IslamReligion.com. 断 を禁じます。